

揚水発電の運用高度化及び導入支援補助金

資源エネルギー庁電力・ガス事業部
電力基盤整備課

令和6年度概算要求額 12.7億円（新規）

事業の内容

事業目的

揚水発電は、電力需給ひっ迫時における供給力、及び再エネの導入が拡大する中で、再エネの自然変動を平準化できる蓄電能力を有する発電方式として、その重要性が向上している。他方、揚水発電は揚水時にロスが発生することから採算性の確保が難しく、今後、揚水発電の停止や撤退が起こってくるといったリスクが存在している。

このため、本事業による揚水発電の運用高度化や導入への支援を通じ、揚水発電の維持及び強化を図ることを目的とする。

事業概要

揚水発電の維持・強化に向け、以下の事業を行う。

- (1) 運用高度化支援事業：揚水発電の維持に向け、採算性の向上を図る、調整機能の向上などの運用高度化に必要な設備投資への支援を行う。
- (2) 新規開発可能性調査支援事業：揚水発電の強化に向け、新規開発の可能性を検討する調査への支援を行う。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）

(1) 運用高度化支援事業



(2) 新規開発可能性調査支援事業



成果目標

令和4年度から令和9年度までの6年間の事業であり、短期的には、本補助金を通じて揚水発電の約3割の運用高度化を図るとともに、新規可能性調査への支援を行う。中長期的には、現在の揚水発電の設備容量を維持していくことを目指す。